

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

よこはま地域福祉研究センター

② 施設・事業所情報

名称：スターチャイルド 《横浜ステーション-カ-》	種別：児童分野 地域型保育事業
代表者氏名：施設長 鹿島 香織	定員（利用人数）： 19名
所在地：〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町1丁目66-9 JR横浜鶴屋町ビル3階	
TEL：045-328-1250	ホームページ： http://www.starchild.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：令和2年（2020年）4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ヒューマンスターチャイルド株式会社	
職員数	常勤職員： 8名 非常勤職員 6名
専門職員	施設長 1名 保育士 10名
	栄養士 1名 調理員 1名
	事務員 1名
施設・設備 の概要	（居室数） 4
	（設備等） 事務室、厨房、幼児トイレ、テラス、調乳室、沐浴室、ラウンジ、休憩室など

③ 理念・基本方針

【保育理念】わたしたちは、こどもの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実現します。

【保育方針】・よく考え心身ともにたくましい子（子どもの自立と挑戦を支援します）
・個性の豊かな子（子どもたちの個性を尊重し、長所を伸ばします）
・やさしさと思いやりのある子（社会性＝人と関わる力を身につけます）

④施設・事業所の特徴的な取組

横浜駅直結の利便性を生かし、子育て支援施設として、乳児一時預かりを併設し、地域ニーズに応じる運営を行っています。同ビルには防災・防犯24時間管理の防災センターがあり、利用者の安全安心に努めています。横浜のシンボル「赤レンガ」をテーマとし、内装にはレンガやエイジング木材を使用し、歴史的な雰囲気や情緒にあふれる空間となっていて、開口部からは横浜駅を行きかう列車が眺められます。

- ・保育所の最大の役割である「養護」と「教育」を一体的に展開していくこと「子どもたちが安心して元気に毎日過ごす場を提供することを大切にしています。
- ・子どもの自発的な行動を褒め成長に結び付けられるよう、刺激の与え方や、保育環境の構築を目指しています。
- ・豊かな感情表現とスキンシップ、コミュニケーションを大切にしています。
- ・肯定形による前向きな言葉かけを意識しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年6月2日（契約日） ～ 2022年11月10日（評価結果確定日）
--------	--

受審回数（前回の受審時期）	回（	年度）
---------------	----	-----

⑥総評

◇特長や今後期待される点

【特長】

◆一人ひとりの子どもの顔が見える家庭的な保育を行っています

園は、乳児保育に特化した小規模保育園として家庭的な雰囲気の中で、個々の子どもの状況を理解した保育を行っています。日々の保育の中で、小さなサインを見逃さず、様子が違う時は職員間で確認し、昼礼等で他の職員にも周知して全職員で状況に応じた対応に努めています。基本的な生活習慣の取得にあたっては、個々の子どもの意欲を尊重して援助しています。習得することの大切さを絵本や手洗い練習スタンプなどを使用して視覚から伝える工夫をしています。職員は、子どもが自分でやりたい気持ちを見守り、できないときは「手伝っていい」と声をかけ、着替えの際なども声をかけながら援助しています。

子どもが自発性を発揮し、興味・関心を持って遊べるよう玩具は自分で選んで手に取りやすくしています。また、家庭ではできない体験ができるよう心掛けています。訪問日に2歳児はドングリを使って紙粘土でケーキをつくり、翌日は自分の好きな色を選び、筆で彩色しています。1歳児は落ち葉に絵の具をつけてスタンプしていましたが、興が乗って手に絵の具を付け手形スタンプになり、喜んであちこちに押し続けました。保育士は子どもの喜びを受け止め、行為を容認して対応しています。第三者評価職員ヒヤリングで職員からは「子ども一人ひとりに関わることができるのが良い点である」、栄養士からは「成長に応じて離乳食から乳児食まで、個別に関わり嗜好も把握していて、苦手な野菜を食育で取り扱い、翌日の給食で提供すると子どもたちの反応が良い」などの意見も聞かれました。職員の一人ひとりの子どもの状況に応じたきめ細かな援助のもと、子どもたちは、自分らしさを素直に出して保育園を楽しんでいます。

◆乳児保育の質の向上に向けた取組をしています

園は、保育の質の向上を目指して、理念等に基づいた保育が実施できるよう職員は、日々の保育を評価し振り返りをして、次につなげています。施設長は理念に基づいた保育が実施されているか、保育観察や保育日誌をチェックして確認し、気になる点は改善に向けた話し合いの場を設けています。

保育を実施するにあたり、法人は各種のマニュアルを用意しています。さらに、園は、乳児に特化した保育が実施できるよう園独自のマニュアルを策定して実施しています。園内研修では横浜市の「より良い保育のためのチェックリスト」による自己点検やAED・救命訓練や誤飲誤嚥防止対策などの事故防止・安全管理に繋がるテーマを設定して毎月行っています。また、「ヒヤリハットかも報告書」を職員から収集して分析しています。分析は時間や場所だけでなく、乳児一人ひとりの子どもの特性を踏まえて分析して危険回避に努め、安全な保育を実施するように努めています。

◆人材育成と働きやすい職場作りに努めています

職員は、毎年個別目標設定シートで、保育スキル、業務姿勢などの中からチャレンジ性のある目標を設定するようにしていて、施設長と面接をして、目標達成度を確認しています。また、経験やスキルに合わせた研修が行われています。園では、チームマネジメントを実現するための研修や、研修に参加した職員の伝達研修など、保育の質につながる園内研修などを実施して人材育成に努めています。更に働きやすい職場作りを最重要取組として、施設長は日常会話や会議などから職員の意見を聞き把握するよう努め、職場環境改善会議を毎月実施しています。残業にならない工夫として、事務に専念できる時間を作るなど、余裕のある時間の確保を心掛けています。職員ヒ

ヤリングでは「職員が認め合うポジティブな職場」との意見がありました。

【今後期待される点】

◆地域貢献に関わる活動の実施が期待されます

園では、事業計画に「地域子育て支援事業」として、「乳児一時預かり事業の利用児と保育園園児の交流」や「育児講座や相談の機会を設ける」ことを明示しています。乳児一時預かり利用児と保育園園児の交流は実施しましたが、公益的な活動、育児講座などは実施できていません。今後は、乳児保育に特化した園の専門性を活かし、乳児保育や離乳食などの講座の開催や専門的な情報を地域に還元されることが期待されます。また、横浜駅と直結しているという立地の利便性を活かし、地域ニーズにもとづいた公益的な活動が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

スターチャイルド《横浜ステーションナーサリー》は、2020年4月、横浜駅直結のJRビル内に小規模保育事業として開園いたしました。

開園から3年目を迎え、初めての第三者評価を受審致しました。

職員全員で、これまで行ってきたことひとつひとつを丁寧に確認し、新たな課題に気づき、意見を出し合い、実践し、承認しあうことができ、大変貴重な機会となりました。

そして改めて、「子どもたちの無限の可能性を信じ、意欲を引き出し、伸ばす保育を実践する」という保育理念が私たちの目指す保育であることを確信いたしました。

また、保護者の皆さまには、アンケートのご協力をいただき、大変温かいお言葉を頂戴致しましたこと、心より感謝申し上げます。

調査員の方々には、ひとつひとつ丁寧に耳を傾けていただき、適正な評価とアドバイスをいただきました、職員一同、評価結果を真摯に受け止め、スターチャイルドの理念のもと、かかわるすべての人が子育ての楽しさ、喜び、感動を共有できる保育施設であり続けるために、より良いサービスの向上に努めてまいりたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり